

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	防疫事業		担当課 【2】	環境整備課			
			評価者(担当者)	前田 弘信			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり					重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全					
	施策区分						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【		年度予定	:	金額	千円【	
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務						<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	4	項	1
				目	4	細目	4

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在、道路や側溝など社会資源の整備がほぼ整っているが、古くなって水の流れが悪くなっているところなどが見受けられ、その水が溜まって澱んでいるところなどで蚊などの害虫が大量に発生したりしている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	水系には害がなく、蚊の幼虫などの成長を抑制する薬を行政区に配布したり、消毒噴霧器の個人や団体への貸出しを行うことによって害虫の発生などを抑制し市民生活の公衆衛生の向上に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・流れの悪くなった側溝などに撒く消毒剤を希望の行政区へ配布し、害虫発生を抑制する。 ・希望者に屋内消毒機を貸出すことで害虫発生を抑制する。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 側溝用消毒剤配布事業 ② 屋内消毒機貸出業務 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	1,596	1,520	627	2,260	
	【16】 小 計	1,596	1,520	627	2,260	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.20	0.25	0.25	0.25	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計		1,137	1,403	1,403	1,403		
合 計		2,733	2,923	2,030	3,663		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 側溝用消毒剤配布事業	消毒剤を配布し害虫発生を防ぐ。	配布個数	個	124	128	123	123
② 屋内消毒機貸出業務	噴霧器を貸出し害虫発生を防ぐ。	貸出し可能台数	台	5	5	6	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 側溝用消毒剤配布行政区数	年間に配布した行政区の数	区	76	62	64	60
2 屋内消毒機(噴霧器)貸出し件数	年間に市民又は行政区等に貸し出した件数	件	50	64	49	37
			64	49	37	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	消毒剤の配布、屋内消毒器の貸出ともに需要が有り、廃止や休止した場合、害虫等が発生しやすくなり、市民生活の公衆衛生面で悪影響が出てくる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	今後も住民へ事業の周知を図るとともに、他市の状況も把握したうえでの将来的な薬剤負担について検討することとし、今後も害虫等の発生抑制等の公衆衛生向上のために、現状のまま継続していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	住民の公衆衛生向上のため、消毒剤配布と噴霧器の貸出は今後も継続する。	評価責任者 西川 正美
------------------	------------------------------------	----------------